

# 野北大岩マルチピッチ講習

【報告者】A・I

【日時】2018年4月17日

【天候】小雨

【参加者】T上 (AD)、I藤 (CL)、O田 (想山会)、A・I

## 《コースタイム》

9:30 駐車場にて講習 -12:00 休憩 -13:00 野北大岩にてマルチピッチ講習 - 17:00 終了

## 《 報 告 》

いつかやりたいと思ったときに役立つよう、マルチピッチ講習に参加。アドバイザーのT上さんは、『なぜそうなのか』という理由付きで説明してくれたので、理解が深まり「なるほどー」の連続だった。

午前中は、駐車場にて講習。最初に道具の説明を受ける。

- ・スリングは最低でも、120cm 1本、60cm を2本携行
- ・ヘルメットは登山用のものを使用（現場用は落下物を想定。自転車用は転倒を想定しているが、穴が大きく小石などが入り込むおそれがある）
- ・アルパインで使用するクライミングシューズは、長時間履いても痛くならないよう、ソールが平らなものを選ぶ（つま先があたるか、ちょっと曲がる程度）
- ・カラビナは、ギアループに引っかからないよう、ゲートを受けるノーズ部分に刻み（爪）が無い『キーロック方式』が主流になっている。
- ・ギアループにぶら下げるスリングは、自分の膝より上の位置に下げる（冬、アイゼンを装着してしゃがんだ時、アイゼンの爪に引っかからないよう）
- ・ギア一つに対し、カラビナ一個使用

などなど。

その後、基本のロープワーク、支点の作り方、懸垂下降の仕方などの講習を受ける。

昼食後、いよいよ実践ということで、大岩へ移動。

懸垂下降をする際の支点の作り方を習い、いざ自分の降りる順番が回ってくる。やっぱり高いところが苦手で、自己確保をとっていても、下を見ると手と足が震えてしまう。あらゆる悪い想像が自分の頭の中を駆け巡る。システムを理解し、一連の動作がよどみなく行えるようになれば、怖くなるのかもしれない。

下に降りると、T上さんからカムを借り、皆それぞれ丁度いいクラックを探し、支点を作る練習をする。その際、支点に取った2本のスリングの角度が60度以上開いてしまうと強度が下がるので、必ず60度以下にするよう説明を受ける。

マルチピッチ、コンテの練習を終え、本日の講習は終了。



3点で支点をとった場合、万一支点が1本抜けてしまっても、衝撃で他の支点が抜けないよう、スリングをまとめて結んでカラビナをかけている。



バックアップ付きの懸垂下降

今回の講習を受けて、アルパインに興味を持つことができた。まずは、簡単なところから。そしていつか旦那さんの行きたい場所に、私も一緒に行けたらいいな。